

『熊本地震から学んだこと：障害者や高齢者にとっての緊急一時避難所とは』

熊本学園大学社会福祉学部 吉村千恵

2017年3月4日 報告



自己紹介

障害者との出会い、タイの
障害者、そして避難所



避難所立ち上げと運営

①4月14日と16日の私の動き方
②避難所の中に「障害者・高齢
者スペースを確保する」という
経緯と目的

～みなさんと一緒に考えたいこと～

- ①日ごろの備えはどうしていますか？
今地震がきたら どうやって逃げますか？
どこへ逃げますか？（避難計画ありますか？）
- ②発災直後の避難（誰がどう判断し、どう逃げますか？ …主人公はみなさん、当事者性は？
- ③避難所；どこでどう過ごしますか？
ハードとソフト（場所とスタッフ体制）
《当事者・スタッフ・行政・ボランティア・
地域の人たちとの連携は？》
合理的配慮をどう考えますか？
- ④避難所のあとはどこへ行きますか？

1, 自己紹介

- 1995年 熊本学園大学入学 ヒューマンネットワーク熊本に「弟子入り」
- 同年 夏休み 初めてタイ農村へスタディーツアー
- 1996年 アメリカのバークレーで法律をテコにした障害者運動の展開について CILのファンドレイジング、運営などについての研修についていく
- 1999年 タイの障害者と出会う



1, 自己紹介

- 2000年 東俊裕事務所で働き出す(アドホック開催時期)
- 2003年 東北タイ農村調査(タイ農村障害者との出会い)
- 2007-2010年 タイの障害者の調査で長期滞在
タイのILの立ち上げ、展開、課題を目の当たりに



2010-2011年 タイの大洪水(取り残された障害者たち)